

# 被験者募集事業を強化

## 上市後の試験結果通知も検討

クロエは、被験者募集事業の強化に乗り出す。S.M.O・医療機関と契約を結び被験者募集サービスを手がけるグループ会社「クリニカル・トリアル」(CT)と営業統合し、クロエのSOPに準じた品質の高いサービスを提供していく方針。

### クロエ

同社は2009年に設立し、被験者募集に特化したCROとして、4年間で170本のプロトコルで実績がある。ただ、製薬企業・CROに対してはクロエが受注する一方、S.M.Oや医療機関からの依頼に対してはCTが受注するスキームとなっていた。

臨床試験実施に伴う不正や事故に関連し、データ品質の確保や被験者保護に対

市後の情報提供サービスを検討していく。昨年10月に実施された世界医師会フォルタレザ総会での「ヘルシンキ宣言」の改定では、「被験者に対する適切な補償と治療が保証されなければならない」との声明が発表され、新たに「被験者に対する研究結果の通知」が盛り込まれた。CTが運営する約47万人の治験ボランティアのデータベースをもとに、被験者に対して試験結果を通知する情報提供の仕組みを構築していきたい考えだ。

今回の営業統合でクロエの売上高は20億円程度まで拡大する見込み。製薬企業向けにセールス&マーケ

ティング支援を手がける「IMSジャパン」とも臨

床試験の施設選定で協業を開始し、成果が出てきているという。

専務取締役臨床企画開発部長の牧大輔氏は、「品質を担保しながら、被験者の集積性を高め、一つの試験をクロエがワンストップで受託できるようにしたい」と話す。